

2020年2月25日

ご意見の回答について

ひまわり園の各事業所に設置された意見箱の中に、以下の投書があることを確認しました。ご意見をお寄せいただき誠にありがとうございます。

内容（原文のまま記載）

こんにちは
お願いがあります。ハイターは劇薬ですよ。
テーブルを霧吹きでまいて消毒のつもりでしょうが、そくやめてほしいです。
玄関に置いてあるような体に優しいものでふいてほしいです。
テーブルをさわったりその手で口に手を入れたり危険です。園長様のご指導ですかね。
匂いをかいただけで鼻にぐっときます。
わがままかも知れませんが宜しくお願いします。

利用者家族より

<回答>

この度は、消毒の件でご心配をおかけし誠に申し訳ございませんでした。おそらく、利用者の方々のご使用になるテーブルを、介護職員が消毒液を吹きかけ、ペーパータオルで拭き取るという一連の場面をご覧になられてからのものと推察いたします。

ご意見の内容をうかがい、2月21日（金）に感染症対策委員会を招集し、今後の対応について協議いたしましたので、その結果をご報告いたします。

① 消毒液にハイターを使用する理由について

当法人が運営する事業所は、基本的に65歳以上の高齢者の方がご利用になります。さまざまな基礎疾患をお持ちの方、抵抗力が低下した方がいらっしゃいますので、集団感染を予防するために感染症対策には万全を期したいと考えています。

テーブルの消毒にハイター（次亜塩素酸ナトリウム溶液）を使用している理由ですが、これは保健所の指導に従い、特に冬季に発生しやすいとされる「ノロウイルス」に有効な消毒

液として使用しています。

ご指摘のとおり、ハイターの原液は人体に害を与えますので、濃度を0.1%～0.02%に希釈して消毒を行っています。

② 課題

この度のご意見を受け、改めて状況を確認したところ、以下の課題があると認識いたしました。

*課題1 消毒液の濃度について

ハイターを希釈するにあたり、水に対してハイターは極々少量を使用するのですが、人が作る以上は濃度が一定とは言い切れないところがあります。仮に濃度が高過ぎれば皮膚への影響が出ないとも限りません。

*課題2 刺激臭について

ハイターである以上、あの特有の刺激臭は必ず出ますので、確かに生活空間において好ましいものではないと思います。

*課題3 消毒方法について

ご意見の内容では、「テーブルを霧吹きでまいて」と書かれてありました。本来、利用者の方がそばにいらっしゃる中で、直にテーブルに吹きかければ消毒液が飛散しますし、マネーの観点からも望ましくない状況です。

③ 今後の改善に向けて

上記の課題から、ハイターの使用を取りやめることを前提に、ノロウイルスに有効とされる代替品を検討しています。各社の製品から信頼性の高いものを選定中ですので、今しばらくお時間をいただきたいと存じます。

また、消毒方法についてですが、消毒液を直接テーブルに吹きかけるのではなく、「ペーパータオルに吹きかけてからテーブルを拭く」ことを改めて職員に周知いたします。

なお、事業所においてノロウイルスの集団感染が発生した場合は、保健所が指導に入ることが想定されます。その際、消毒液に指定されるのは「次亜塩素酸ナトリウム溶液」になりますので、こうした場合は収束するまでハイターを使用することになります。その点についてはご理解いただきたいと存じます。

以上が回答となります。

この度のご指摘により、当事業所の課題が浮き彫りとなり、サービスの質改善に向けて議論をする機会に恵まれました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

園長